



あさぎり



桜の下でハイポーズ!! つつじヶ丘学園

知的障がいとは、先天的、あるいは後天的いような原因により人種・性別に関係なく発生し、その数およそ人口の0.3%にもあたるといわれています。

つつじヶ丘学園は、昭和47年4月開園された、入所52名、通所9名の知的障害者入所更生施設です。免田地区吉井にケアホーム「亀の甲」、定員10名も稼働中。職員30名、嘱託医2名で運営。

一般会計 当初予算	2～3 P
主な質疑内容・特別会計当初予算	4～5 P
条例改正	6 P
補正予算・議会構成	7 P
一般質問	8～14 P
まちの新しい風	14 P
常任委員会報告	15 P
一部事務組合・議会活動	16～17 P
町民の声	18 P

対前年比9.8%増

三月定例議会

平成二十二年第一回定例会は三月九日から十九日までの十一日間の日程で開催されました。

町長の平成二十二年度施政方針が述べられ、一般質問では、十三名が登壇し、町づくりについて、執行部の考え方について質問がありました。

あさぎり町下水道事業減債基金条例、防災行政無線施設条例の一部を改正する条例、情報通信基盤施設の設置及び管理に関する条例、地域審議会条例の一部を改正する条例や一般会計ほか特別会計当初予算及び補正予算など四十三議案、議員発議五件が上程、一議案が否決され、他は原案どおり可決されました。

総務費

地域情報通信基盤整備	2,587万円
まちづくり基金積立金	5億円
公有財産購入費	721万円
財務諸表作成支援業務	300万円
参議院議員選挙費	858万円



防災告知システム

当初予算
の主なもの

民生費・衛生費

社会福祉協議会運営費	5,069万円
子ども医療費給付金	6,322万円
ごみ処理費負担金	1億8,898万円
し尿処理費負担金	6,066万円
ヘルシーランド管理委託料	4,249万円
温泉交流センター管理委託料	5,444万円



ヘルシーランド

農林費

中山間地域等直接支払交付金	1億円
農業再生チャレンジ事業委託料	2,350万円
山の幸開発事業委託料	2,585万円
畜産振興事業補助金	900万円
素材生産・造林委託料	2,931万円
林業・木材産業振興施設整備事業補助金	1億8,828万円



農業再生チャレンジ事業（梨剪定研修）

104億7千5百万円

商工費

あさぎり町商工会補助金	1,287万円
ふるさと振興社助成金	523万円
店舗改装事業等補助金	360万円
まちづくり交付金事業	8,585万円
農林商工連携支援協議会補助金	584万円



あさぎり駅前



道路改良（東庁舎前通学予定路線）

土木費

道路新設改良費	2億4,100万円
道路改良費	1億4,864万円
道路維持費	6,825万円
住宅建設費	2,846万円

教育費

あさぎり中学校整備費	5億4,691万円
小学校管理費	1億3,719万円
中学校管理費	1億636万円
給食センター運営費	8,355万円
生涯学習団体補助金	614万円
体育協会補助金	590万円



あさぎり中学校増築棟建設予定地

公債費

償還費（元金・利子）	16億4,794万円
------------	------------

当初予算に対する 主な質疑内容

問 町が新しい事業を行う場合、関係団体との連携がないと思うが。

答 新しい取り組みについては関係団体と意見交換会を積極的に行っていく。

問 条例に従って業者の指名等公平・公正に行われているのか。



答 指名の方針については、指名審査基準、指名要綱等にもとづいて、地域貢献度、品質の確保、競争性の確保を考慮して行っている。

問 ゴミ処理費が生ゴミの減量とかをとるえなから減らないうが対策はどうなっているか。



答 廃棄物減量等推進協議会で周知して頂いているが、なかなか広がりがない状況である。ゴミの減量化への取り組みについて、更に周知していただきたい。

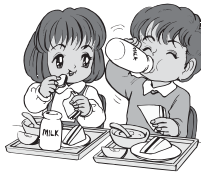
問 区の再編は合併時の約束事であるが、どのようにされるのか。

答 行政指導でいくのか、機運を盛り上げるようにするのか、その方向を平成二十二年の前半ぐらいには示すようにしたい。

問 補助金交付要綱で明示してある金額と、実際の予算金額との差がある。条例違反ではないか。

答 補助金交付要綱の確認をおこたつており、予算書の修正を行う。

問 給食センターの食品関係の納入について、町の補助金団体からの納入は、公平性に欠けるのではないか。



答 ふるさと振興社の特殊性、地域性を考慮して、検討する時間を頂きたい。

問 町民の健康増進を図る上で、体育指導員を増やす事はできないか。

答 総合的な取り組みの中で検討したい。

問 敬老祝金制度を見直して、少子化対策を充実できないか。

答 老人会等関係者と相談しながら、町の施策に沿った取り組みに置き換えていくか検討したい。

問 遊休資産を持ちながら、新に公共地を求めるあり方には疑問を持つが。



答 中学校統合後、更に空き施設が増えるので、関係者と状況を確認しながら進めていく。

問 起債（地方債）残高が増えていく傾向にあるが。

答 長期的な計画のもとで、財政運営を考えていく必要がある。

問 保育料の滞納問題をどうとらえているか。

比較して委託料が多すぎる。

答 経費を抑えるとともに、入館者・利用者をふやしていく方策を考えなければならぬ。



問 乗合タクシーを交通弱者の方に多く利用できる様方策を取るべきでは。

答 路線表等は各世帯に配布しているが、町民の方々に理解があるか不安であり、認知され活用いただくよう対策を考えていく必要がある。

問 川辺川土地改良事業組合の今からの見直しはどうか。

答 最低限の体制維持として、二十二年途中で一定の方向を見出そうということと動いている。

問 ふるさと振興社の町助成金を削減するための努力はどうしているか。

答 平成二十二年を今後の方向性を見極める年ということで、営業活動を積極的に取り組みたい。

組みは。組織づくりを行い、町の顔となる加工品として餃子開発事業に取り組みたい。

問 統合中学校整備については財産区林を利用して、木造建築とするべきではないか。



答 増築部分を木造で全面的にやることは難しいが、最大限木質化を図る。

問 財政調整基金の積み増しできた要因は何か。

答 普通交付税が増額して配分された為。

問 統合中学校の実施設計においては、信用ある業者を指名することが大事。

答 指名審査会で十分議論し、最高の形で指名したい。

問 統合中学校の事業費が、説明のたび増額されてきたが、議会と執行部は共同責任であるから、今回の中央突破する様なやり方ではないか。

答 決して、強行突破ではなく、最大限理解を求めたつもりである。



国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ
22億2,208万円。



老人保健医療特別会計

歳入歳出それぞれ
121万円。



後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ
1億5,768万円。



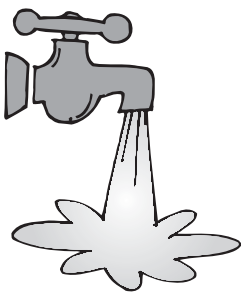
介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ
15億1,794万円。

介護サービス特別会計

歳入歳出それぞれ
3,753万円。

特別会計当初予算

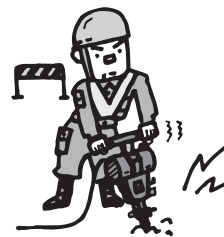


水道事業特別会計

収益的・資本的収支の支出額
9,352万円。

簡易水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ
5億5,425万円。



下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ
10億7,104万円。



上財産区特別会計

歳入歳出それぞれ
3,767万円。



球磨郡障害認定審査事業特別会計

歳入歳出それぞれ
914万円。



介護認定審査事業特別会計

歳入歳出それぞれ
3,556万円。

条例の制定

※あさぎり町シンボル等制定委員会条例等の一部を改正する条例

この条例は、組織の再編に伴い、課名の変更が必要となるため

※あさぎり町情報通信基盤施設の設置及び管理に関する条例の制定

あさぎり町情報通信基盤設備の新設のため、条例制定の必要がある

※あさぎり町防災行政無線施設条例の一部を改正する条例

防災行政無線施設の種類の變更になったため

※あさぎり町地域審議会条例の一部を改正する条例

地域に密着し、より地域の声が届きやすい事務体制とするための改正

※あさぎり町立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定

平成二十三年三月末日で、上小学校皆越分校が閉校となるため

※あさぎり町入札監視委員会条例の制定

町の発注する建設工事、測量設計業務委託等の入札及び契約のより一層の適正化を図るため

※あさぎり町下水道事業減債基金条例の制定

下水道事業に係る町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる町財政の健全な運営に資するため

※あさぎり町高齢者コミュニケーションセンター条例の一部を改正する条例の制定

高山荘の使用料を改正するために条例の一部を改正する必要があるため

部を改正する必要があるため

※あさぎり町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

あさぎり町課設置条例の改正に伴い、常任委員会の所管内容を改正する必要があるため



情報基盤整備
(旧上庁舎内のセンター設備)



皆越分校



高山荘



寺池農村公園

※あさぎり町農村公園条例の一部を改正する条例の制定

県営経営体育成基盤整備事業等によりあさぎり町内に造成された県有財産である農村公園等を事業完了に伴い財産譲渡されたため、当該条例の一

経済危機対策・きめ細かな臨時交付金事業関連等 総額11億7千8百万円補正予算可決(平成22年3月15日)



(岡原地区)

保健センター改修 1,534万円



(岡原地区)

農業用排水路等整備費 8,676万円



(須恵地区)

道路維持・改良費 9,556万円

消防詰所建設 1,100万円



(上中学校)

統合中学校関連事業費 2億8,016万円

太陽光パネル設置事業(5小学校) 2億7,232万円



(岡原小学校)

耐震補強事業費(4小学校) 2億9,093万円

財政調整基金積立金 1億652万円

常任委員会等の構成が変わりました

委員 橋爪 和彦
委員 宮原 盛幸
委員 山口 和幸
委員 皆越てる子
副委員長 櫻山 保
委員長 田原 健一

厚生常任委員会

委員 緒方 勇二
委員 奥田 公人
委員 愛甲 利孝
委員 淵田 勇一
副委員長 岩水 国昭
委員長 豊永 隆一

総務文教常任委員会

委員 溝口 峰男
委員 櫻山 保
委員 田原 健一
委員 豊永 隆一
副委員長 小見田和行
委員長 岩水 国昭

議会運営委員会



委員 永井 英治
委員 緒方 勇二
委員 桑原 武夫
委員 皆越てる子
副委員長 山口 和幸
委員長 愛甲 利孝

広報調査特別委員会

委員 永井 英治
委員 桑原 武夫
委員 久保田久男
委員 浦本 秀正
副委員長 小見田和行
委員長 溝口 峰男

建設経済常任委員会

◎二十一年度の行政実績は

雇用を進め生活対策に力を入れた



議員 荒田 勇一

荒田 二十一年度施政方針で町政への思いは何か。

康を目指す。その②結婚対策 その③町の目玉加工品に取り組みたい。
荒田 では平成二十一年度を振り返って行政のカジ取り役としての実績は。

町長 特別の交付金が支給されたのを有効に使う。その①町も町民も健

活対策の予算確保に力を入れた、②将来の財政確立のため五年間で

二十五億円積立に着手、
③特別会計を含む健全財政確立、④中学校統合に向けた準備、⑤経済危機対策臨時交付金事業等活力を盛り上げる取り組みをした。緊急経済対策等として二十一～二十一年度で約十二億五千万円決定が見込まれている。

荒田 雇用の実績は。

町長 緊急雇用対策事業で五十九名雇用、そのうち失業者五十七名、ふるさと雇用再生特別事業十七名うち失業者雇用十六名であった。

◎思い切って新校舎にできないか

新築案は一切ありません



議員 浦本 秀正

浦本 二月十六日の議員懇談会の説明で開校までに必要な事業費七億六千二百万、前倒し事業四千万、技術室棟等の改築七千二百万、検討必要な事業一億九千七百万。町民への説明会が終了した直後に示された

合計金額が十億七千三百万。旧校舎のリフォーム費用は入っていないが思い切って新校舎にしたら。

教育長 基本方針に立って検討しており新築案についての事は一切ありません。

浦本 上校舎技術棟は昭和三十七年建設、部室や車庫は四十七年建設。普通教室や特別教室、音楽教室が五十六年建設。将来の町の財政を考えるなら（合併特例債を使える）今、決断した方が良いのではないか。

計画があった事は素直に認めます。

◎自転車購入について

浦本 二十一年九月十日に中学校統合の懇談会の中「ギアつきのしっかりした自転車購入を支援する」という事で一人二万円の説明があったが。

町長 保護者の方が喜んでもらえる状況じゃないと…。

浦本 自転車購入の補助金二万円を制服代へ振りかえる気持ちはないのか。

町長 今、その予算を他へ回す考えは持っていない。



雇用促進事業での施設管理

質問が登壇

教育長 一番最初のスタートが五億二千万円だった。大変申し訳ないがプロジェクトチームにさまざまな



上中学校技術棟

◎ 財政運営指針の確立を

将来負担を増やさないよう取り組む



愛甲利孝議員

愛甲 非常に厳しい財政状況になっておる中で、中・長期的財政運営の指針をしっかりと確立させずには語れない。地方交付税等の国の流れ、町の流れを正確に把握しておかないと、間違った方向にいつてしまう。あさぎり町は、財政の状況を示す指標の中で、熊本県下で二番目、三番目に悪い数値がでている。このことは合併特例債等の地方債残高の増加が原因ではないか。

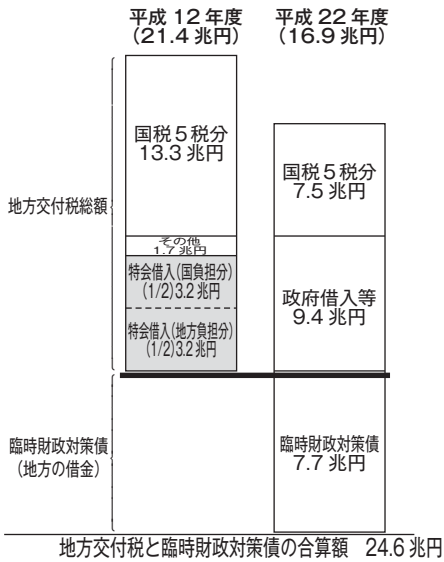
町長 財政の将来負担を増やすようなことのないよう意識しながら財政運営に取り組んでいきたい。

愛甲 町の将来にわたっての財政運営の責任は、執行部、そして私たち議会にある。財政破綻におちいった夕張市の二の舞にならないよう、町長の覚悟のほどを

お尋ねする。

町長 現実の状況は厳しい。町の地方債残高は二百三十億円近くある。入ってくるお金と、出ていくお金をしっかりと見極めながら町政運営をしていく。

地方交付税等総額(当初)



一般 13 名

◎ ゆとりと魅力のある農業・農村を

安定的な農業経営の確立を図る



山口和幸議員



葉たばこ栽培(須恵地区)

山口 農業があさぎり町の経済を大きく左右する産業であるが、どのように認識しているか。又、その為にどのような施策を展開するのか。

町長 農業が元気にならないとあさぎり町はもとより球磨郡も元気にならないと認識しており、農業関連施設整備に伴う負担軽減、都市と農村との交流による農業体験等を通じた観光農業の推進、集落営農の支援等を行ない、安定した農業所得の確保、高齢化する農村社会の再生を図る。

山口 快適な商工業環境の創出の為に、中心市街地の活性化・商工会と連携・地場産業の育成強化についてどのように考えているか。

町長 県の駅前交差点整備事業に合わせて、縮小案で駅周辺整備を行い、商工会との定期的な政策会議を行って連携を図り、地場産業の育成強化を推進したい。



県の交差点改良(南稜高校前)

◎観光案内人養成講座を

具体的に検討したい



岩水国昭議員

好感を持って帰って来た。本町においても、観光案内人の育成については、考えていくべきかと思う。

教育課長 現在文化財、

岩水 平成二十三年三月の九州新幹線全線開業まで一年と迫っている。各自治体も北九州、関西、関東からの観光客を呼び込んで、地域経済の活性化につなげようと、魅力ある観光地作りへの取り組みがなされている。本町においても、観光案内人養成講座等を開いて、受け皿となる人材育成が必要と思うが。

町長 職員研修のおり、鹿児島市内でボランティアガイドの方が、熱心にわかりやすく案内していただき、皆さんも

寺社仏閣等の取りまとめを行なっている。編集並びに冊子の作成をし、文化財案内人の講座を検討している。

岩水 深田荒茂

の勝福寺跡、古塔碑群、毘沙門堂、岳の堂跡、一帯を整備して、国指定文化財への取り組みは。

教育課長 白山

神社までの階段の整備と、説明看板を白山神社、古塔碑群、毘沙門堂に設置した。毘沙門堂の

八体の仏像中、六体の仏像を修理、残り二体を終え、修理報告書を作成し、国指定重要文化財の手続きをしたい。

岩水 指定に向けての手続きはいつごろになるのか。

教育課長 二体の仏像

修復が計画では二十三年度をめどに終り、報告書に時間がかかるのでいつと申し述べることはできない。

岩水 一年でも早く国指定文化財になるよう進めていただきたい。



黒田地区の賓頭盧堂(びんずるどう)

◎高山にモミジ植栽を

意見検討させて頂きたい



櫻山 保議員

町長 この件については少し議論を持って進めてみたい。あの山の感じで本当にモミジが育つかどうか。

櫻山 モミジは枝が折れても芽が出る。今品種

櫻山 深田、高山にモミジ一万本を植栽し将来紅葉祭りでも出来な

いか。

町長 高山も勿論ですが今は麓城跡にモミジの木があり、すばらしい紅葉の場所である。あの辺一帯を強化したが面白いのではないか。

櫻山 高山を赤、黄色に染め尽くす事が出来たら将来紅葉祭りを運動公園いっぱい使って商工会あたりと連携しながら開催したら将来展望があるのではないか。

改良されて綺麗なモミジがある。国も環境保全、環境問題に力を入れて

町長 モミジもそういう山で育つんであれば

それでいいんじゃないか。



高山全景

◎愛甲町政三年間での産業振興
はどうであったか

農業を主産業として、他にも雇用の場の確保に取り組んできた



永井英治議員

永井 町長はこれまでの三年間を振り返って産業振興の面では、どう感じておられるか。

町長 農業が主産業という考えから、農家の意見を聞き、対策を立てることに心がけてきた。大きな企業誘致ができる状況ではなく、当面の問題として雇用の場を少しでも増やす事に取り組んできた。

永井 農商工連携の取組の現状と、その商品PRは。また、有機セン

ターの木灰ペレット肥料の現状は。

産業振興課長 「ふるさと振興社」の中で地域ブランド商品開発事業に取り組んでいる。商品では、「干し味噌の雫」「むらさきの素」「おからクッキー」「豆乳マヨネーズ」が製品化できた。特産品にしても農産物にしても、大量販売には系統販売があるが、小規模農産物・特産品をいかにして売ることが、今後

の農業・商業の課題だと思っている。

熊本製材から出る木灰を原料とした「木灰ペレット肥料」は、ようやく製品化できた。二十二年度は実験の年、翌年度から販売に踏みきりたい。

『その他質問』
結婚対策について



木灰ペレット肥料の原料となる木灰(有機センター)

◎地域活性化
(林業・林産業・商工業)を

木造化は考えていない



緒方勇二議員

緒方 ①国も県も公共施設等への木材利用促進と謳っているのに、なぜ中学校施設整備において検討されないのか。

②地域材利用した木造建築の場合、地元還元率七十五％に鉄筋コンクリート造だと四十％に落ちる。単に教育財産の整備でなくて、併せて地元の活性化を図るべきでは。③学校建築ならば材産区材を無償提供の申し出もあるのに、平均的な木造住宅百戸分に相当する地域材が

使用されるのに検討されないのか。④公共建築物を作るとき、木造では出来ませんと一言で片付ける設計業者が多過ぎる。今後の実施設計業者指名には木造設計に前向き業者指名を願いたい。

町長 今現在の建物を有効利用し進めてきた経緯がある。教育委員会に強く木造化を要望した事は無い。あくまでも鉄筋コンクリート造で木質化を出して、落着いた教室等に取り組んでいく。完全木造が非

常に地元に対して仕事としては分散できる可能性もあるが完成後のメンテナンス等も課題があると聞いている。指摘された雇用促進と地元材の活用は、可能なものは検討する。

『その他質問』
住宅版エコポイント制度に付いて、ありがた商品券に還元出来ないか。聞きました。



木造校舎(益城中央小学校)

◎数字の積算は大丈夫か

注意して当初の計画予算を提出したい



宮原盛幸議員

精査が十分でなかった。特に注意して当初の計画予算を提出すべきだと、肝に感じて今後の行政に取り組んでいきたい。

宮原 余りにも一校に統合しようと急いだのが原因ではないのか。

町長 急いだというより結構そこでは時間をかけたつもりだったが、実際に設計のコンサルタン

トを入れて詰めていったらかなり違うことがでてきた。

宮原 今から先、長いスパンで見るとこのような問題は

本当に真剣に考えねばならない。このよう

に最初の事業費が二倍になるような事は、将来財政規模が六十億円台になった時、大丈夫か。

総務課長 今回、学校整備に充当して合併特例債並びに過疎債については、教育委員会と財政部所と協議の結果、妥当であるということでの予算化した。



上中学校プール

◎「あさぎり中学校」整備は、開校迄にできないか

予算捻出し、必要に応じて整備する



溝口峰男議員

一億九千七百万円の事業は別予算の中で捻出し、必要に応じて整備していきたい。

溝口 「あさぎり中学校」に関する情報がすべてPTA会員に周知

されているが、開校後に二億円近くの事業が計画されている。教育環境を考

える時、開校までに整備しておくべきではないのか。

町長 五億二千万円で当初の増改築費用を住民に説明してきた。その後、コンサルの提案を

入れて八億三百万円と進めていくが、残りの

決まったことが伝わるようにしていく。

果と今後の取組みは。
総務課長 二十一年度は、四団体を指定して取り組んでいる。効果については、数値的に把握していないが、事務事業の中で生かしていきたい。住民協働による町づくりは地域づくりの原点であるので、今後も住民の意見を踏まえて推進していく。



美化パートナー(八幡区花壇整備)

◎新規需要米への取り組みと、その対応策は

飼料米の栽培にも努力する



小見田和行議員

小見田 二十二年四月からスタートする水田

利活用自給率向上事業において、米粉用、飼料用米、ホールクroppサイレイジ用稲については、反当り交付単価が八万円と言うことで、県下においても前年度と比べ大きく作付けが増えるとの事だが、あさざり町の二十二年度の営農計画の集計状況の感触はいかがか。

産業振興課長 完全集

計ではないが、ホールクroppサイレイジが、昨年比百八十八ヘクター

増で大幅に増えている米粉用二、一ヘクター、飼料用米一、一ヘクターとなったている。
小見田 自給率向上は国策であるし飼料米(エサ米)の栽培も増えてく

る事が予想される。高い交付金を得る為にも、ソフト、ハード両面の環境整備の必要性をどう考えるか。
産業振興課長 国の制度を把握し、農家により多くの交付金が取れるよう進めていくし、ハード整備も、この制度が続くようであれば高性能機械も必要と思う。



飼料用稲の収穫

◎企業誘致で地域の活性化を

中学校跡地等も視野に入れ取り組み



桑原武夫議員

桑原 長引く景気低迷、依然厳しい雇用環境の中、卒業し志を持って都会へ行く人、地元に残り

たくても郡外、県外へ職を求めて出て行く若者達がいる。この地域で育てられ、その思いある若者達がその地域で活躍する場が少なく残念である。「若さは、地域を活性化させる資源」と考える。企業誘致は自治体間の競争、アピールする仕掛けが必要と考えるが。
町長 私も選挙中、五社以上の企業誘致に取り

組むと訴えてきた。現実には厳しい。当初からわかっていった。今、郡市に於いて企業誘致連絡協議会がある。情報も入って来る。今後中学校の跡地等もあり可能性がある。今まで以上に雇用の場が広がる取り組みにしたい。

桑原 現在、中学校開校に向けて主要道路整備が進んでいる中、深田村時代より何回となく一



内山交叉点(県道多良木相良線)

環境整備課長 県道であります。県に強く要望し改良できるよう努めていく。

般質問が出た、深田田山スタンドから古町にかけての歩道、又内山地区フルーティロード信号機より鷺巣地区への歩道が未整備である。中学校統合あわせた道路整備ではなく、交通弱者最優先とした、地域間格差のない整備にあたって欲しい。



立岩前付近(県道人吉水上線)

◎産業の活性化対策を

ブランド育成支援をしたい



奥田公人議員

奥田 最近では、あさぎり町の産業も停滞もしくは減少の傾向にあると言っても過言ではない。今後、五年、十年先を見越したときに、あさぎり町の産業はどうなっていくのだろうかと思安になって来る。あさぎり町が将来に向けて躍進していくためにはどうすれば良いのか、真剣に考える時期にきていると考える。そこで、産業再生挑戦戦略の具体的な方策と実績について伺う。

町長 選ばれるブランド育成支援ということはお客様に認めていただく。まず、認定委員会では、玄米のコシヒカリ、それから大豆、茎ブロッコリー、新ゴボウ、スナックエンドウ、オクラ、こういったものが対象の商品として上っている。本来にブランドづくりというのは、販路をどうやってつくっていくかというものが一つある。もう一つはボリューム、量です。できるだけ継続的にある一定の量がという、その二つを兼ね備えて初めてブランドということである。認定というか、お客様に認

定されていく。

産業振興課長 選ばれるブランド育成支援に

ついてはあさぎりブランド農産物出荷協議会が平成十六年五月十三日に、あさぎりブランド認定委員会を十一月十六日に設立しブランド推進に努力している。

『その他の質問』

名所・旧跡・主要施設の案内表示のあり方についても質問しました。



スナックエンドウ栽培

町の新しい風 ちとせや

地域に活気を



「かかった」ということで、JA支所跡を活用して岡原店、深田店に続いてオープンしたものです。須恵地区では、数年前、JAの購買店が撤退したあと、地域のお年寄りの方などには、日用品の買い出しなどで、不便さを訴えておられましたが大変ありがたい店舗進出となっているようです。

ちょうど買い物にこられた方も「近くに店ができてよかったです」と話しておられました。

ことしの2月22日にJAくま旧須恵支所跡にスーパーコンビニ「ちとせや」が開店オープンしました。これは上地区の種村雅俊さんが、「若者が頑張れば出来る」ということを実践した

生鮮食品、日用雑



常任委員会報告



閉校になる免田中学校

●総務・文教常任委員会

日時 平成二十二年二月二十五日

閉校後の中学校の跡地利用の件は「町の総合計画審議会を諮問機関とした中で地域住民の意見を尊重する」との執行部意見でした。

また、議会議場の移転計画は、町民の中でも色々な意見がある事なので、現在の庁舎近くに土地を求め増築し、議会議場も統合した総合庁舎

とする方が良いだろう。しかし周辺の土地は個人の所有地であり、中学校の増改築など財政的な面もあるが、前向きに検討するよう委員会から申し入れをした。

●厚生常任委員会

日時 平成二十二年二月十六日

二月十六日、健康福祉課長・各班長から事業仕分けにより影響が懸念される事業について説明を受けた。

主なものは

(一) 新規に行う女性特有のがんについて検診の無料クーポン券と検診手帳を配布する事業に対し財政支援が行われ、(二) 延長保育については、



上第二保育所

これまで次世代育成支援対策交付金の補助率で行っていた事業を児童育成事業に移し変え、国・県・町がそれぞれ三分の一の補助率で実施するようになります。

●建設・経済常任委員会

平成二十二年三月一日

新政権下における今後の事業が、あさぎり町に及ぼす影響を調査しました。環境整備関係では、公共工事の縮減の方向は示されているものの、現時点では明確な指針が示されていない為、従来どおりの計画に沿って新年度予算を編成するという事です。

産業振興関係では、駅前整備事業に関しては町づくり交付金が社会資本整備交付金へと再編されるが、その内容には大きな変化はないという事であり

ます。水田農業確立対策事業が廃止となり、新たに戸別所得補償モデル対象事業が新設され、大きな制度改正が行なわれるが、他の事業についてはほぼ継続される見込みであります。



田植作業（上地区）

一部事務組合議会報告

●上球磨消防組合

第一回臨時議会が、一月二十八日開催され、救助工作車事業について原案どおり可決された。これは、指名業者五社の中から、熊本市の「野々村ポンプ株式会社」が九千三百三十万円で落札した事によるものであります。

また、第一回定例会が三月八日開催された。主なものとして、消防組合職員の定数を六十三人から六十七人に改正するもので、これは、二十三年三月に五名の退職者が出る事にもない、実働人員を確保するためのものである。また、平成二十二年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ、六億四千万円とする事で、いずれも原案どおり可決された。



救助工作車

した。

●川辺川総合土地改良事業組合

二月二十六日午前十時から開会され、まず内山慶治組合長より諸般の報告があり、休止状態になっている利水事業がどう動くのか大きな転機をむかえているということでした。

二十一年度の最終補正予算では、あさぎり町と錦町に組合職員が向かっていますので、給料の二割相当分を二町で負担金として出してもらうことになりました。

●公立多良木病院組合

平成二十二年第一回球磨郡公立多良木病院組合議会定例会報告。第一回病院組合議会定例会は三月四日に招集され、会期一日で開催。今定例会では、予算、特別会計予算等が審議。条例関係では、四月からの全適に伴う「組合」を「企業団」、「組合長」を「企業長」に改正する内容が主です。

●人吉球磨広域行政組合

平成二十二年第一回人吉球磨広域行政組合議会定例会が、三月三日、カルチャーパレス会議室にて開会。

議案第一号から議案第十号まで十議案を一括して執行部の説明を受け、議案第二号、平成二十一年度人吉球磨広域行政組合一般会計補正予算(第五号) 議案第三号平成二十一年度人吉球磨広域行政組合食肉センター特別会計補正予算(第二号) 議案第四号平成二十一年度人吉球磨広域行政組合人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計補正予算(第四号) 議案第五号平成二十一年度人吉球磨広域行政組合特別養護老人ホーム特別会計補正予算(第四号)までを審議し、原案どおり可決されました。



公立病院新築棟

議会ひとくちメモ(7)

(町議会のことをお知らせするコーナー)

問 財政力指数とはどんなことですか？

答 地方交付税への依存の程度です。

自治体の財政力の強弱を測る指標であり、国からの仕送りである地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを意味しています。大きい方が財政力があるとされ、通常、1.00を超えると普通交付税が交付されない不交付団体(富裕団体)です。ちなみに、あさぎり町の財政力指数は平成二十年度で0.260で、高いとはいえません。

議会活動

◆ 議会先進地研修

三月二十四～二十五日にかけて、和水町の「九州杉バイオ事業協同組合」を視察し戦後の植林した杉の活用として、乾燥木質チップ、木質ペレットを原料とした、ポイラー事業を研修し、菊池市「きく



乾燥木質チップによる木材乾燥施設(九州杉バイオ事業協同組合)



木造校舎の研修室 きくちふるさと水源交流館

ちふるさと水源交流館」では、閉校した懐かしい木造校舎の活用として、体験メニューを色々と揃えた宿泊施設改修した事例研修を、「益城中央小学校」は三月に竣工したばかりの、主要構造が管理棟部分はRC造、教室棟は木造とした



木造による教室棟 益城中央小学校低学年棟

先進事例を視察し理解を深めた。いずれも杉材を多用した事例でありました。

◆ 上財産区有林・町有林視察

四月八日、あさぎり中学校施設整備事業に地元産材を活用した校舎建設をとの議論を受けて、上財産区管理会の同行を依頼し視察と意見交換会を実施いたしました。



上財産区視察 樹齢145年 宮床の杉

総じて貴重な財産である地域材が良好な状態であったが、間伐等の適切な施業が行き届かずの部分が見受けられた。交換会では地元材を使った木造校舎建設をとの声も聞かれ、経済林である財産区材を教育施設に使用する事は有意義であると認識した。

町の声



あさぎり中学校に思うこと

岡原中学3年

山崎 晴香

私の通う岡原中学校は、生徒数は九十三名と少ないですが、明るく、三年生を中心に団結できる学校です。また、あいさつ日本一を目指し、明るく元気のよいあいさつを心掛けています。

この伝統ある岡原中学校もあと二年で新しいあさぎり中

学校へと統合されます。統合されることにより、保育園や小学校から中学校までずっと同じメンバーではなくなり、友達の輪が広がることはとても良いことだと思います。また、レギュラー争いは起きるかもしれませんが、部活動の選択肢が広がり、楽しく充実した中学生を送ることができると思います。しかし、統合により岡原中学校がなくなってしまうことは、とても寂しいです。新しいあさぎり中学校では、それぞれの

伝統を受け継ぎ、より良い中学校になるようにしてほしいと思います。そのためには、新しい中学校の生徒になる人も、今あさぎり五中学校に通っている私たちも、それぞれの学校の伝統を受け継いでいく必要があると思います。残り少ない岡原中学校の伝統を受け継いでいくためにも、今三年生である私たちがより良い岡原中学校にするために努力していきたいと思っています。

行政・議会に思うこと

上南 尾方 誓也



行政は、合併して大きくないとサービスが低下するのではないかと懸念されがちだが自分としては、それほど特別に感じる所はない。国も県も財政難だからという妥協感もあるの

だろうか。そもそもそれまでが、たかひのサービスの要求

け込み討議、結論のような気がしてならない。こうした問題に限らず、行政、議会は、もつと議論の途中に住民との意見の交換が必要なのではないだろうか。後世代に「先人は、しかもなか」と言われる事のないよう住民を含んだ上での行政、議会のさらなるけん引力の発揮をお願いしたい。

編集後記

今期の議員の任期も半ばを過ぎようとしています。広報委員も一部交代し、新体制で町民の皆さまに議会の様子をおたえしていくことになりました。今まで同様どうぞよろしくお願ひいたします。

それにしても、かざられた字数の中で、いかにわかりやすく正確に伝えていくかということの難しさを痛感しています。「町民の声」のコーナーも同様です。「わたしの言いたいことが伝わっていない」というお叱りの言葉をいただいたこともありました。

この議会だよりがみなさまのお手元に届くころには若葉が一層濃くなっていることと思います。そして、2年後の春には統合中学校も開校します。一歩一歩あゆみ続けていきたいものです。(愛甲)

編集・発行責任者
議長 橋爪 和彦

- 広報調査特別委員会**
- 委員長 愛甲 利孝
 - 副委員長 山口 和幸
 - 委員 皆越てる子
 - 委員 桑原 武夫
 - 委員 緒方 勇二
 - 委員 永井 英治

発行／あさぎり町議会
編集／議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北 1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265E-mail syoki-gika@town.asagiri.lg.jp